

稲わらは燃やさず、有効利用しましょう。



秋のすき込みで
健康的な土づくり！
稲わらのすき込みは

畜産業での有効利用！

家畜の飼料や敷きわらとして
利用価値が高まっています



青の煌めきあおもり国スポ・障スポ

2026

翔けろ未来へ縄文の風に乗って
第80回国民スポーツ大会 第25回全国障害者スポーツ大会



今年は国スポ・障スポの開催により多くの方が来県します。
綺麗な環境づくりに努めましょう。

鶴 田 町

水稻の出穂状況と刈取時期の予想

出穂状況

市町村	始 (月日)	盛期		終 (月日)
		(月日)	(平年差)	
鶴田町	7月28日	7月31日	早3日	8月5日

刈取時期の目安

刈り取りが遅れると、胴割れ・茶米・奇形粒などの発生が多くなります。
表を参考に、自分の水田の状況を見ながら、刈取時期を判断しましょう。

高温により、刈取適期は平年より早まる見込みです。刈り遅れは品質低下を助長するため、稲刈りの準備を早めに行い、適期内に収穫できるようにしましょう！

籾の黄化程度	①「まっしぐら」、「はれわたり」 ほ場全体の籾が、90%程度黄化した時期 ②「青天の霹靂」 ほ場全体の籾が、85%程度黄化した時期
枝梗の黄化程度	枝梗の2／3程度が黄化した時期
青未熟粒の混入割合	青未熟粒の混入率(1.9mm選別、重量比)が、10%程度まで減少した時期
籾水分	25～26%程度まで減少した時期
出穂後積算気温※	青天の霹靂:900～1,100℃ まっしぐら:960～1,200℃ はれわたり:970～1,300℃

※出穂後積算気温:出穂期の翌日から毎日の平均気温を積算した値

積算気温からみた刈取期間の目安

出穂期	7月27日	8月1日	8月5日	備 考
900℃	9月4日	9月9日	9月14日	「青天の霹靂」の始期
960℃	9月7日	9月12日	9月17日	「まっしぐら」の始期
970℃	9月7日	9月13日	9月17日	「はれわたり」の始期
1,100℃	9月12日	9月18日	9月23日	「青天の霹靂」の晩限
1,200℃	9月16日	9月24日	9月29日	「まっしぐら」の晩限
1,300℃	9月23日	9月30日	10月6日	「はれわたり」の晩限

五所川原アメダス値を使用し、8月17日までは本年値、それ以降は平年値を用いて算出。

稲わら有効利用で美味しい米を！

稲わらは貴重な有機質資源です。堆肥にするなど有効に利用しましょう。
稲わらをすき込んで地力を高め、高温に負けないイネをつくりましょう！

稲わらすき込み田の管理

- 初期生育は劣りますが、秋まさり的な稲となります。
- すき込み時期は秋を基本とし、石灰窒素など腐熟促進剤を施用しましょう。
- 代かき時は水深を浅めにし、稲わらを土中に埋め込みましょう。
- ガスが発生しやすいので、生育状況と気象条件に応じた適正な水管理や、中干し・溝切りを行い、土に酸素を供給しましょう。
- 基肥窒素量の目安

稲わらすき込み状況	基肥窒素量の目安
連用2～3年目まで	慣行より5～10%増やす
連用3～4年目	慣行施用量と同量
連用4～5年目以降	慣行より5～10%減らす

農作業 焦らず、急がず、慎重に！